

VVAULT[®] データ移行マニュアル

Data Migration Manual for VVAULT 9.5

1	ライブマイグレーションによる移行	5
2	クイックマイグレーションによる移行	9
3	Vマイグレーションによる移行	17
4	VVAULTへの移行シナリオ	39

はじめに

本文書のご利用にあたって

- 本文書の内容の一部または全部を著作者の許諾なしに複製、改変、および翻訳することは、著作権法下での許可事項を除き禁止されています。
- 本文書で使用している情報及び画像は本文書執筆時点のもので、最新版の製品および製品サイトと文言やデザイン等が異なる場合があります。
- 本文書内の社名、製品名は各社の商標又は登録商標です。

目次

1	ライブマイグレーションによる移行	5
1-1	ライブマイグレーションについて	6
1-2	既存データの取り込み手順	7
2	クイックマイグレーションによる移行	9
2-1	クイックマイグレーションとは	10
2-2	各部の名称と役割	11
2-3	クイックマイグレーションの手順	14
3	Vマイグレーションによる移行	17
3-1	Vマイグレーションとは	18
3-2	各部の名称と役割	19
3-3	Vマイグレーションの手順	31
4	VVAULTへの移行シナリオ	39
4-1	共有フォルダーの移行	40
4-2	共有ドライブの移行	50

1 ライブマイグレーションによる移行

Data Migration Manual for VVAULT 9.5

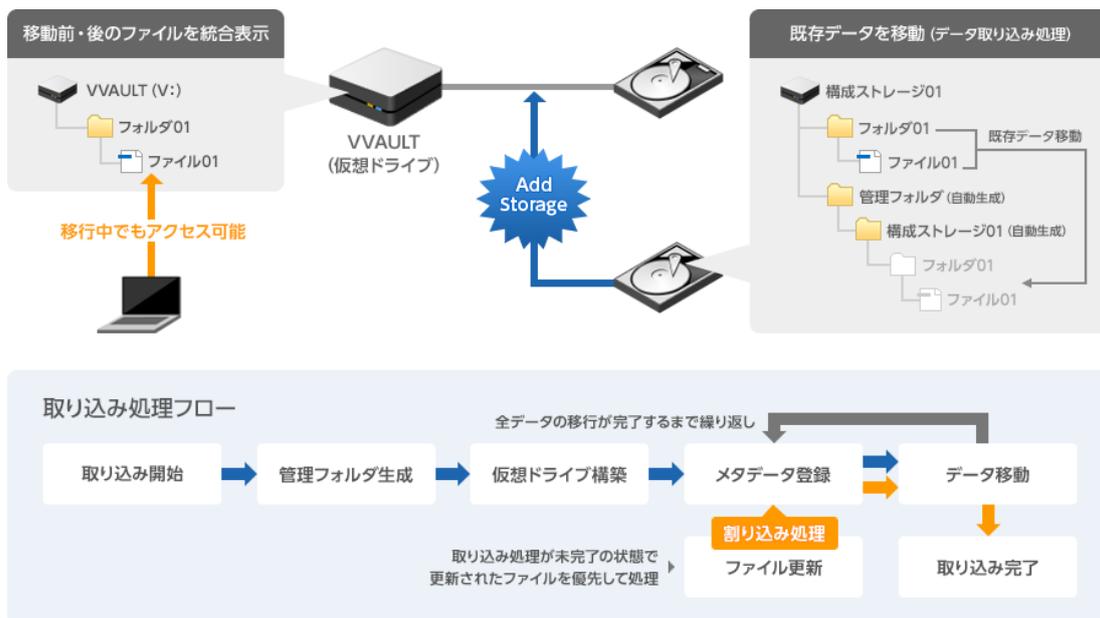
1-1 ライブマイグレーションについて	6
1-2 既存データの取り込み手順	7

1-1

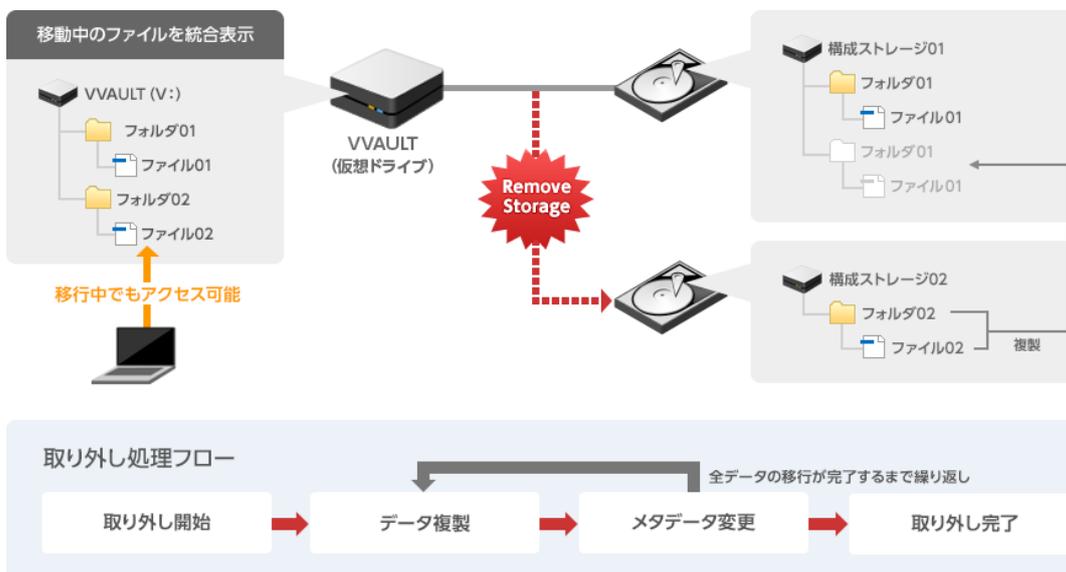
ライブマイグレーションについて

ライブマイグレーションとは、ストレージ機器の新規導入や入れ替えの際に発生するデータの移行作業を、マスタドライブシステムを稼働させたまま行う機能です。本製品でのライブマイグレーションは、構成ストレージ内の既存データを取り込む際や、構成ストレージを取り外す際の実行されます。各処理の概要は以下をご覧ください。

既存データ取り込み時のライブマイグレーション



既存データ取り外し時のライブマイグレーション



1-2

既存データの取り込み手順

構成ストレージとして追加する際、マスタドライブ用の管理フォルダーが自動生成されますが、既にストレージに保存されていたデータはそのままではマスタドライブで扱うことはできません。マスタドライブでそれらの既存データを扱うには、ストレージ設定画面から既存データを[取り込む]必要があります。以下の手順に従って、既存データをマスタドライブへ取り込んでください。

尚、この機能はマスタドライブの構成ストレージにのみ対応しています。

手順解説

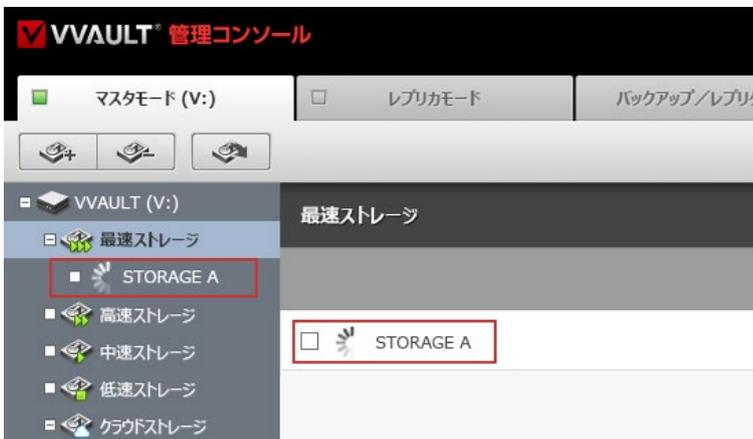
- ① 既存データが保存されているストレージの設定画面へ移動し、[取り込む]ボタンをクリックします。



ワンポイント

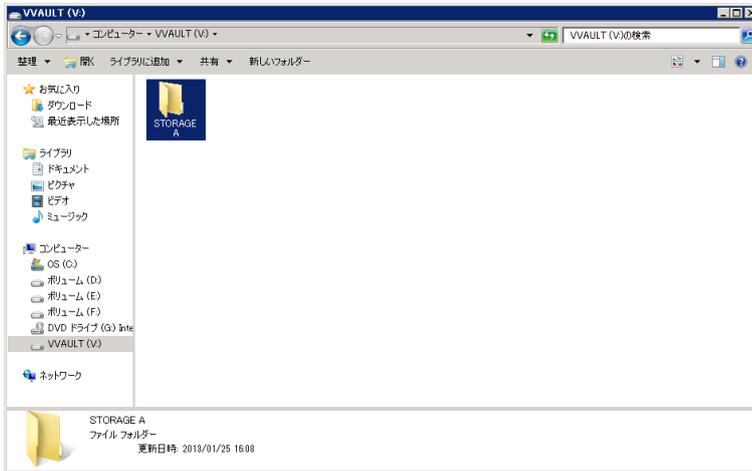
データ移行中はファイルサーバーの応答性能が下がるため、ユーザー利用の少ない時間帯での移行を推奨します。

- ② 対象ストレージのアイコンが実行中のものへ切り替わります。



手順解説

- ③ 処理が正常に完了した場合は、マスタドライブのルート直下に対象のストレージ名のフォルダーが生成され、その中に既存データが移動されています。

**ワンポイント**

レポートメールを送信する設定の環境では、取り込み処理の完了時に結果をメールで通知します。レポートメールについての詳細は「システム設定マニュアル」の「2-1 レポートメールとは」をご覧ください。

⚠️ 取り込みに失敗する場合

取り込みに失敗した場合は、「警告・障害の解決方法」の「2 警告・障害 一覧」を参考に、エラーとなったコンテンツの問題（読み取り専用になっている等）の解決してください。解決後、再度実行してください。

2 クイックマイグレーションによる移行

Data Migration Manual for VVAULT 9.5

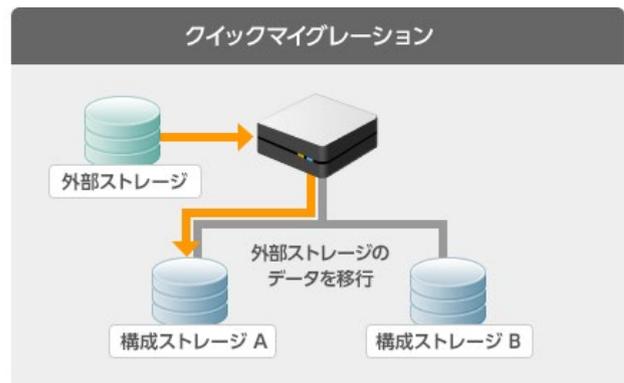
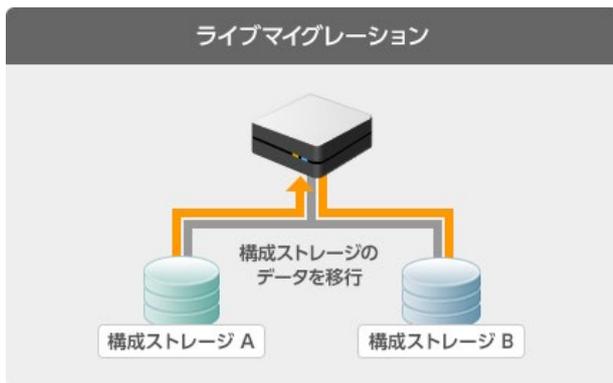
2-1 クイックマイグレーションとは	10
2-2 各部の名称と役割	11
2-3 クイックマイグレーションの手順	14

2-1

クイックマイグレーションとは

クイックマイグレーションは、外部ストレージのデータをマスタドライブへ移行する機能です。ジョブは内部的にストレージの[追加][取り込み][取り外し]を実行します。ジョブを開始した時点で移行元パスの全データがマスタドライブ上に表示され、操作が可能となりますが、移行元データのフォルダー構成が変更されるため十分に注意が必要です。(各処理については「1-1 ライブマイグレーションについて(P.6)」を参照してください)

※移行元データに変更を加えず、安全にデータ移行をしたい場合は「Vマイグレーション」をご利用ください。



■ [データ移行先]について

クイックマイグレーションを実行すると、データはマスタドライブのルート直下に生成される[移行先フォルダー]内に移行されます。この[移行先フォルダー]の名称は、クイックマイグレーションジョブの作成時に任意に指定することができます。また、マスタドライブのルート直下に存在するフォルダー名を指定することも可能です。

2-2

各部の名称と役割

クイックマイグレーション ジョブ一覧画面

クイックマイグレーション

ステータス	受付日時	移行元パス	移行先フォルダ名	エラーログ
実行中...	2013/01/23 00:00	E:¥	V:¥移行データ_E	
待機中...	2013/01/23 00:00	F:¥	V:¥移行データ_F	
エラー	2013/01/23 00:00	¥¥SV1¥営業部	V:¥営業部	
エラー	2013/01/23 00:00	¥¥SV2¥開発部	V:¥開発部	
終了	2013/01/23 00:00	¥¥SV3¥経理部	V:¥経理部	
成功	2013/01/23 00:00	¥¥SV4¥総務部	V:¥総務部	

© OREGA Inc. All Rights Reserved. ver.9.0.0

名称と役割

- ① [ジョブ作成] ボタン
クイックマイグレーションのジョブ作成ウィンドウを開きます。
- ② [履歴クリア] ボタン
完了しているジョブの履歴を一覧から削除します。
※実行中や待機中、エラーで中断中のものは削除されません。

③ ステータス

一覧画面を表示した時点でのジョブのステータスが表示されます。最新のステータスを表示するには [更新] ボタンをクリックしてください。尚、ステータスには以下の種類があります。

実行中

移行処理中の場合に表示されます。

待機中

他のストレージが処理中などで、移行処理の開始を待機している場合に表示されます。

成功

正常に移行処理が終了できた場合に表示されます。

エラー

移行処理に失敗したファイルがある場合に表示されます。

終了

移行処理に失敗したファイルがあるが、強制的にジョブを終了した場合に表示されます。

④ 受付日時

クイックマイグレーションの実行操作を受け付けた日時が表示されます。

⑤ 移行元パス

ジョブ作成時に指定された [移行元パス] が表示されます。

⑥ 移行先フォルダー名

ジョブ作成時に指定された [移行先フォルダー名] が表示されます。

⑦ エラーログ

移行処理に失敗したファイルがある場合に表示されます。クリックすることでエラーメッセージが出力されたログファイルをダウンロードします。

⑧ [再実行] ボタン

エラーで終わったジョブを再実行します。このボタンは、エラーステータスでのみ使用可能です。

⑨ [終了] ボタン

エラーで終わったジョブを強制的に終了します。このボタンは、エラーステータスでのみ使用可能です。

クイックマイグレーション ジョブ作成ウィンドウ

名称と役割

① 移行元パス（入力必須）

本製品を使用するコンピューターから、移行元となる外部ストレージ、又は外部ストレージ内のディレクトリへのフルパスを入力する項目です。

例1) E:¥ローカルストレージの場合

例2) ¥¥任意のサーバー名 ¥共有フォルダー名 ネットワークストレージの場合

管理対象パス直下には本製品で使用する管理フォルダーが自動生成されます。システム不整合の原因となりますので、移行中はこのフォルダーを直接変更、又は削除しないでください。また、システム運用に支障をきたす恐れのある場所は管理対象パスとして指定できません。詳しくは「仮想ドライブ設定マニュアル」「1-3 構成ストレージの追加」の「管理対象パスについて」をご覧ください。

② 移行先フォルダー名（入力必須）

マスタドライブのルート直下に生成される移行先フォルダー名を指定します。

③ [エラーを無視して処理を続行する] チェックボックス

データ移行でエラーが発生（ファイルにアクセスできないなど）した際に、それらを無視して強制的に処理を完了させる場合はチェックを入れてください。

④ [ユーザー名とパスワードを使用する] チェックボックス

ネットワークストレージや共有フォルダー等で、接続に認証が必要な場合はチェックを入れてください。

⑤ ユーザー名（⑩チェック時は入力必須）

接続認証に使用するユーザー名を入力する項目です。先頭に、接続先のサーバー名、又はIPアドレスを入力してください。

例) 接続先のサーバー名 ¥ ユーザー名

⑥ パスワード

接続認証に使用するパスワードを入力する項目です。

⑦ [パスワードを表示] チェックボックス

パスワード欄に入力されている文字列を可視化します。

⑧ [接続テスト] ボタン

指定された移行先パスで外部ストレージへの接続テストを実行します。

⑨ [決定] ボタン

入力された情報でクイックマイグレーションジョブを作成し、実行します。

⑩ [キャンセル] ボタン

クイックマイグレーションをジョブを作成せずにウィンドウを閉じます。

2-3

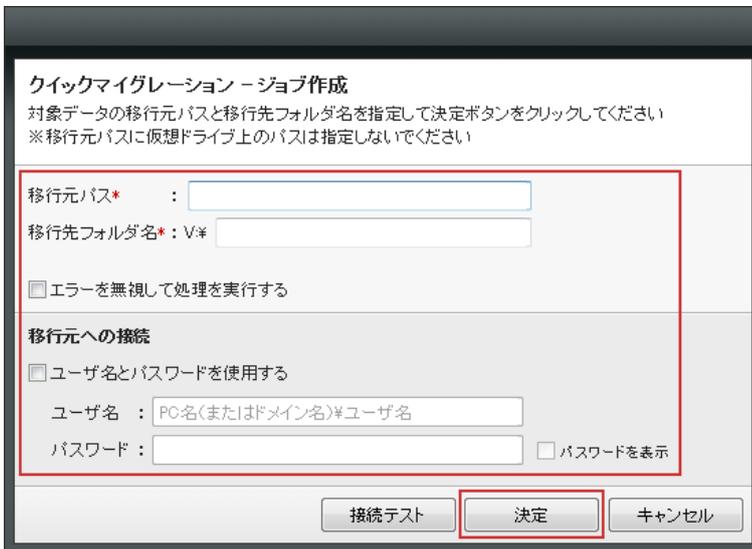
クイックマイグレーションの手順

手順解説

① [マスタモード] タブのツールバーに配置されている [クイックマイグレーション ジョブ作成] ボタンをクリックします。

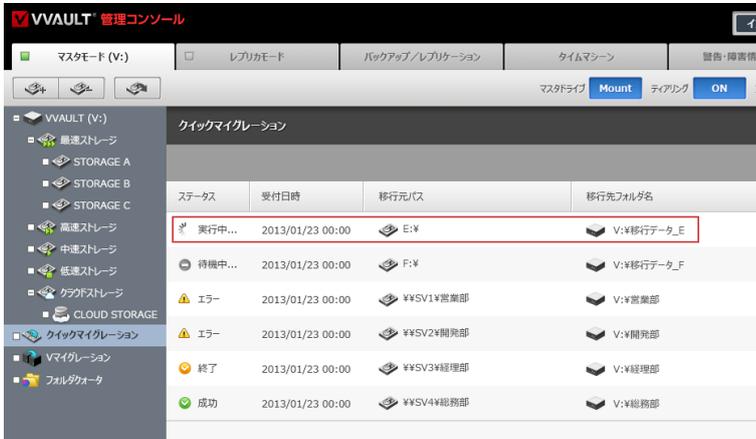


② 「2-2 各部の名称と役割 (P.11)」の [クイックマイグレーション ジョブ作成画面] を参考に必要な情報を入力し、決定ボタンをクリックします。



手順解説

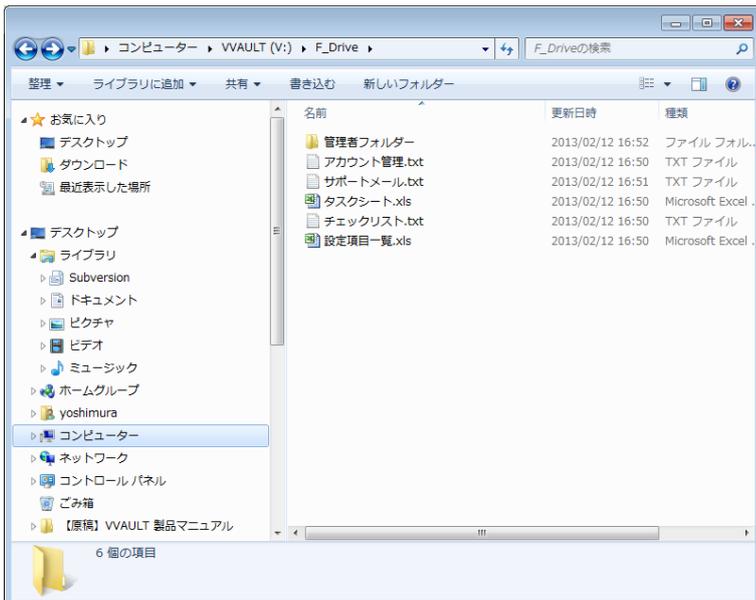
- ③ [クイックマイグレーション一覧]を開き、作成したジョブのステータスが [実行中] になっていることを確認します。



ワンポイント

他のストレージで [取り込み] [取り外し] [クイックマイグレーション] などを実行している場合、ジョブが待機状態になることがあります。

- ④ マスタドライブのルートに生成された [移行先フォルダ]を開き、移行対象となるデータが表示されていることを確認します。



ワンポイント

[エラー] となった場合は [エラーログ] をダウンロードして内容を確認してください。エラーログの内容を無視して完了させる場合は、[終了] ボタンをクリックしてして強制終了を実行してください。

3 Vマイグレーションによる移行

Data Migration Manual for VVAULT 9.5

3-1 Vマイグレーションとは	18
3-2 各部の名称と役割	19
3-3 Vマイグレーションの手順	31

3-1

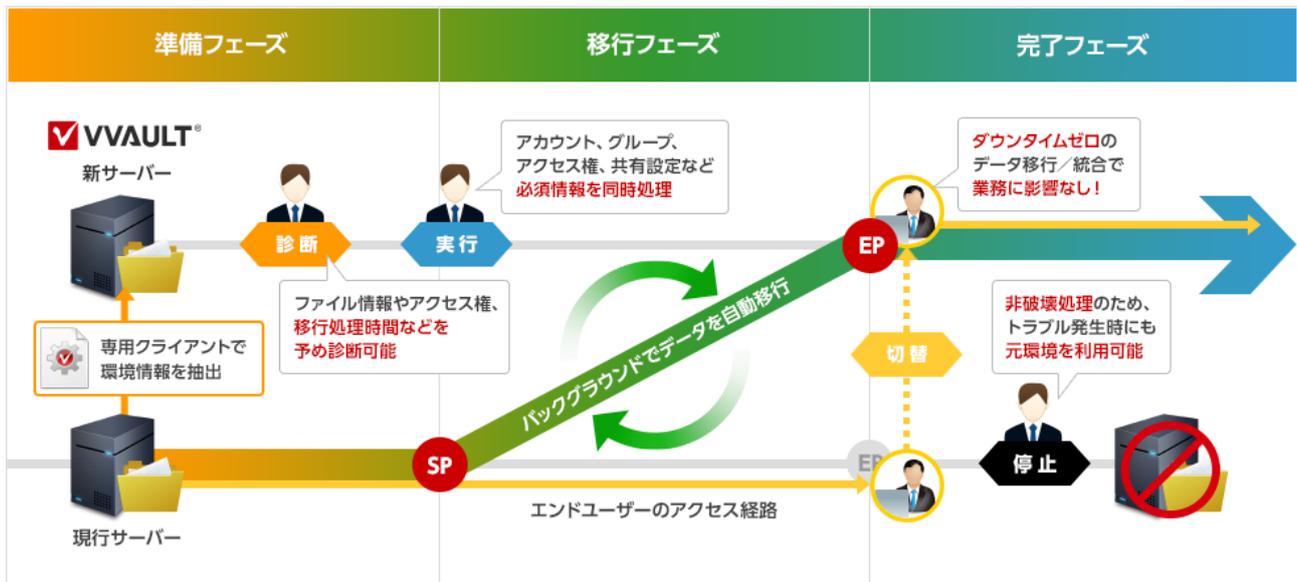
Vマイグレーションとは

Vマイグレーションは、煩雑なファイルサーバーの移行作業を容易に行うためのマイグレーション機能です。専用のVマイグレーションツールを使うことにより、移行元のサーバーに保存されているファイルだけでなく、ユーザー、グループといったアカウント情報や、共有フォルダーの設定情報までも移行することが可能です。

※本機能で行われる移行処理は「複製」の為、実行後も移行元のストレージにデータが残ります。

⚠️ ご注意

この機能は2TB以下のデータ移行を想定したツールです。
2TBを超えるデータに対しての使用は推奨しません。



■ [Vマイグレーションツール]について

Vマイグレーションツールを実行すると、移行元のサーバーから下記の情報を抽出し、2つのファイルに出力することができます。

ユーザ情報ファイル (V_UserInfo_サーバー名_日時.txt)

- ・サーバーに存在するアカウントおよびグループ情報
- ・サーバーに存在するグループメンバー情報

共有フォルダ情報ファイル (V_ShareFolder_サーバー名_日時.txt)

- ・サーバーで設定されている共有フォルダ設定情報

尚、Vマイグレーションツールは、インストール先のtoolsフォルダ内に格納されています。

例) C:\Program Files\VVAULT\tools\VVAULT_VMigration_Tool_1.0.0.exe

3-2

各部の名称と役割

Vマイグレーション ジョブ一覧ウィンドウ

© OREGA Inc. All Rights Reserved. ver.9.0.0

名称と役割

- ① [一時停止] / [再開] ボタン
一時停止/再開をします。
- ② [サーバ追加] ボタン
サーバ追加ウィンドウを開きます。
- ③ [サーバ削除] ボタン
選択されたサーバを一覧から削除します。
- ④ [設定] ボタン
実行スケジュール設定ウィンドウを開きます。
- ⑤ [ジョブ追加] ボタン
データ移行ジョブ追加ウィンドウを開きます。
- ⑥ [サーバ編集] ボタン
サーバの編集ウィンドウを開きます。

⑦ ステータス／処理順

一覧画面を表示した時点でのジョブのステータスと処理の順番が表示されます。最新のステータスを表示するには [更新] ボタンをクリックしてください。尚、ステータスには以下の種類があります。

診断中

診断処理中の場合に表示されます。

診断エラー

診断処理中にエラーが発生した場合に表示されます。

診断中止

診断処理中に中止操作が行われた場合に表示されます。

診断済み

診断処理が終了した場合に表示されます。

移行中

移行処理中の場合に表示されます。

移行待機中

移行開始後、時間帯指定で設定された時間外となった場合及びユーザー操作により一時停止された場合に表示されます。

移行済み

移行処理が終了した場合に表示されます。

移行エラー

移行処理中にエラーが発生した場合に表示されます。

移行中止

移行処理中に中止操作が行われた場合に表示されます。

⑧ ジョブ

データ移行ジョブの場合、移行元の共有フォルダ名と移行先のパスが表示されます。また処理中のレコードにカーソルを乗せると、その時点でのジョブの進捗状況が表示されます。

処理時間

処理を開始してから経過した時間が表示されます。

移行速度

データ転送量から算出された現在の移行速度が表示されます。

完了件数

正常に処理された件数がカウントされます。

完了データ量

正常に処理されたデータ量の合計が表示されます。

エラー件数

処理中に発生したエラー件数がカウントされます。

⑨ [全て診断] ボタン

サーバ内で実行可能なジョブを全て診断開始状態にします。

⑩ [全て移行] ボタン

クォータの種類 (ハード・ソフト) が表示されます。

⑪ [移行診断] ボタン

移行診断ウィンドウを開きます。

⑫ [データ移行] ボタン

データ移行ウィンドウを開きます。

⑬ [削除] ボタン

対象のジョブを一覧から削除します。

Vマイグレーション サーバー追加・編集ウィンドウ

サーバ追加
移行元サーバの情報を入力し、決定ボタンをクリックしてください。

移行元サーバ* **①** アカウント情報ファイル

② 共有設定情報ファイル

③ サーバ名 (またはIPアドレス)

④ 接続にユーザ名とパスワードを使用する

ユーザ名 **⑤** 名前 (またはドメイン名) ¥ユーザ名

パスワード **⑥** **⑦** 表示

移行速度 **⑧** : 標準 中速 高速 最高速

名称と役割

① アカウント情報ファイル

移行元サーバーにてVマイグレーションツールを使って出力させた、アカウント情報ファイル (V_UserInfo_マシン名_日時.txt) を指定する項目です。編集時に指定すると、前回追加された内容に対しては上書き、存在しない内容に関しては追加が行われます。

② 共有設定情報ファイル

移行元サーバーにてVマイグレーションを使って出力させた、共有設定情報ファイル (V_ShareFolder_マシン名_日時.txt) を指定する項目です。編集時に指定すると、前回追加された内容に対しては上書き、存在しない内容に関しては追加が行われます。

③ サーバ名 (入力必須)

移行元のサーバー名を入力する項目です。名前が解決できない場合、IPアドレスを入力してください。
例) 任意のサーバー名 (またはIPアドレス)

④ [接続にユーザ名とパスワードを使用する] チェックボックス

サーバーへ接続するのに認証が必要な場合はチェックを入れてください。

⑤ ユーザ名 (④チェック時は入力必須)

接続認証に使用するユーザー名を入力する項目です。先頭に、移行元のサーバー名、又はIPアドレスを入力してください。
例) サーバー名 ¥ユーザー名

⑥ パスワード

接続認証に使用するパスワードを入力する項目です。

⑦ [表示] チェックボックス

パスワード欄に入力されている文字列を可視化します。

⑧ 移行速度

移行元サーバーへの負荷を調整する項目です。最高速にすると速度が優先され、移行元への負荷は大きくなります。

Vマイグレーション ジョブ追加ウィンドウ

名称と役割

① 移行元共有フォルダ (入力必須)

移行元へのパス (共有フォルダ名) を入力する項目です。

② 移行先フォルダ

移行先となるVドライブ上のパスを入力する項目です。

※移行開始すると、①と②のパスで同期が行われます。移行元に存在しない移行先のデータは全て消去されますので充分ご注意ください。

③ [エラーを無視して処理を続行する] チェックボックス

データ移行でエラーが発生 (ファイルにアクセスできないなど) した際に、それらを無視して強制的に処理を完了させる場合はチェックを入れてください。

④ [移行開始] ボタン

入力された内容でジョブを登録し、データ移行処理を開始します。

⑤ [診断開始] ボタン

入力された内容でジョブを登録し、データ診断処理を開始します。

⑥ [決定] ボタン

入力された内容でジョブを登録します。

⑦ [キャンセル] ボタン

ジョブの追加をせずにウィンドウを閉じます。

Vマイグレーション 移行診断 (アカウント) ウィンドウ

移行診断

アカウント情報 (¥¥192.168.1.100)

① 診断済み (受付日時: 2014/02/12 18:00 実行日時: 2014/02/12 23:00 ~ 2014/02/12 23:50)

システムアカウントに管理者権限がありません。移行処理を実行するには管理者権限が必要です。

④ 移行診断結果

	総件数	移行対象件数
アカウント	1,000	1,000
グループ	25	25
グループメンバ	1,025	1,025

⑤ 診断開始 ⑥ キャンセル

名称と役割

① ステータス

ウィンドウ表示した時点でのジョブのステータスが表示されます。最新のステータスを表示するにはウィンドウを再度開きなおしてください。尚、ステータスには以下の種類があります。

診断中

診断処理中の場合に表示されます

診断済み

診断処理が終了した場合に表示されます。

診断エラー

診断処理中にエラーが発生した場合に表示されます。

診断中止

診断処理中に中止操作が行われた場合に表示されます。

② 受付日時

診断開始を受付けた日時が表示されます。

③ 実行日時

診断処理が開始された日時と終了した日時が表示されます。

④ 診断結果

アカウント、グループ、グループメンバに対してそれぞれの診断結果が表示されます。

総件数

アカウント情報ファイルから抽出した総件数がカウントされます。

移行対象件数

総件数からすでにマシンに存在するものを除いた件数がカウントされます。

⑤ [診断開始] ボタン

入力された内容でジョブを登録し、データ診断処理を開始します。

⑥ [診断開始/診断中止] ボタン

アカウント診断処理を開始/中止します。

⑦ [キャンセル] ボタン

ウィンドウを閉じます。

Vマイグレーション 移行診断 (共有フォルダ) ウィンドウ

移行診断

DevTeam-B (192.168.1.100) → V:*DevTeam-B

① 診断済み (受付日時: 2014/02/12 18:00 実行日時: 2014/02/12 23:00 ~ 2014/02/19 23:00)

共有フォルダ名「DevTeam-B」は既に使用されています。別のフォルダ名を指定してください。

移行中に 447件 のエラーが発生する可能性があります。

④	アクセス不可	セキュリティ変換不可	その他
発生件数	82	20	10

AssessmentErrorLog_201402192300.xxx ⑤

⑥ 推定移行所要時間は 168時間 です。

⑦	総件数	移行対象件数	移行可能件数
ファイル	30,000,000	30,000,000	29,999,888
フォルダ	500,000	500,000	500,000
サイズ	100.00TB	100.00TB	9.64TB

⑧ 診断開始 ⑨ キャンセル

名称と役割

① ステータス

ウィンドウ表示した時点でのジョブのステータスが表示されます。最新のステータスを表示するにはウィンドウを再度開きなおしてください。尚、ステータスには以下の種類があります。

診断中

診断処理中の場合に表示されます。

診断済み

診断処理が終了した場合に表示されます。

診断エラー

診断処理中にエラーが発生した場合に表示されます。

診断中止

診断処理中に中止操作が行われた場合に表示されます。

② 受付日時

診断開始を受付けた日時が表示されます。

③ 実行日時

診断処理が開始された日時と終了した日時が表示されます。

④ 移行診断

移行元データの診断結果が表示されます。

アクセス不可

アクセスできないデータが存在した場合にカウントされます。

セキュリティ変換不可

移行先に同名のアカウントが存在しない等、セキュリティ情報を引き継げないデータが存在した場合にカウントされます。

その他

上記以外のエラーが発生した場合にカウントされます。

⑤ エラーログ

診断処理で発生したエラーの詳細ログがダウンロードできます。

⑥ 推定移行所要時間

実際に移行処理を行った際の推定所要時間が表示されます。

⑦ 移行結果**総件数**

移行元データの総件数がカウントされます。

移行対象件数

総件数からすでに移行先に存在（更新日時とサイズが同じ）するものを除いた件数がカウントされます。

移行可能件数

移行対象件数からエラー件数を除いた件数がカウントされます。

⑧ [診断開始/中止] ボタン

データ診断処理を開始/中止します。

⑨ [キャンセル] ボタン

ウィンドウを閉じます。

Vマイグレーション データ移行 (アカウント) ウィンドウ



名称と役割

① ステータス

ウィンドウ表示した時点でのジョブのステータスが表示されます。最新のステータスを表示するにはウィンドウを再度開きなおしてください。尚、ステータスには以下の種類があります。

移行中

移行処理中の場合に表示されます。

移行待機中

移行開始後、時間帯指定で設定された時間外となった場合及びユーザー操作により一時停止された場合に表示されます。

移行済み

移行処理が終了した場合に表示されます。

移行エラー

移行処理中にエラーが発生した場合に表示されます。

移行中止

移行処理中に中止操作が行われた場合に表示されます。

② 受付日時

移行開始の受付日時が表示されます。

③ 実行日時

移行処理を開始した日時と終了した日時が表示されます。

④ [移行中に見つかった問題を無視する] チェックボックス

移行で問題が発生した際に、それらを無視して強制的に処理を完了させる場合はチェックを入れてください。

⑤ [次回ログイン時にパスワードの変更を強制する] チェックボックス

作成したアカウントで初めてログインする際に、強制的にパスワードを変更させる場合はチェックを入れてください。

⑥ エラーログ

移行処理で発生したエラーの詳細ログがダウンロードできます。

⑦ 移行結果

アカウント、グループ、グループメンバに対してそれぞれの移行結果が表示されます。

総件数

アカウント情報ファイルから抽出した総件数がカウントされます。

移行対象件数

総件数からすでにマシンに存在するものを除いた件数がカウントされます。

移行完了件数

移行完了した件数がカウントされます。

⑧ アカウントリストファイル

作成したアカウントとパスワードのリストがダウンロードできます。

⑨ [移行開始/移行中止] ボタン

アカウント移行処理を開始/中止します。

⑩ [適用] ボタン

入力されている設定値を保存します。

⑪ [キャンセル] ボタン

ウィンドウを閉じます。

Vマイグレーション データ移行（共有フォルダ）ウィンドウ

データ移行

DevTeam-B (¥¥192.168.1.100) → V:¥DevTeam-B

① 診断済み (受付日時: 2014/02/12 18:00 実行日時: 2014/02/12 23:00 ~ 2014/02/19 23:00 移行速度: 15MB/sec) ④

移行元共有フォルダ ⑤ ¥¥192.138.1.100¥ DevTeam-B

移行先フォルダ ⑥ V:¥ DevTeam-B

移行オプション ⑦ 共有設定を引き継ぐ ⑧ 共有フォルダ名: DevTeam-B

⑨ エラーを無視して処理を続ける

移行中に 112 件のエラーが発生しました。

発生件数	アクセス不可	セキュリティ変換不可	その他
82	20	10	

MigrationErrorLog_201402192300.xxx ⑪

168時間 でデータ移行を完了しました。

⑫	総件数	移行対象件数	移行完了件数
ファイル	30,000,000	30,000,000	29,999,888
フォルダ	500,000	500,000	500,000
サイズ	100.00TB	10.00TB	9.64TB

⑬ 移行開始 ⑭ 適用 ⑮ キャンセル

名称と役割

① ステータス

ウィンドウ表示した時点でのジョブのステータスが表示されます。最新のステータスを表示するにはウィンドウを再度開きなおしてください。尚、ステータスには以下の種類があります。

移行中

移行処理中の場合に表示されます。

移行待機中

移行開始後、時間帯指定で設定された時間外となった場合及びユーザー操作により一時停止された場合に表示されます。

移行済み

移行処理が終了した場合に表示されます。

移行エラー

移行処理中にエラーが発生した場合に表示されます。

移行中止

移行処理中に中止操作が行われた場合に表示されます。

② 受付日時

移行開始を受付けた日時が表示されます。

③ 実行日時

移行処理を開始した日時と終了した日時が表示されます。

④ 移行速度

データ転送量から算出された移行速度が表示されます。

⑤ 移行元共有フォルダ

移行元へのパス（共有フォルダ名）を入力する項目です。

⑥ 移行先フォルダ

移行先となるVドライブ上のパスを入力する項目です。

※移行開始すると、④と⑤のパスで同期が行われます。移行元に存在しない移行先のデータは全て消去されますので充分ご注意ください。

⑦ [共有設定を引き継ぐ] チェックボックス

移行元の共有フォルダ情報を引き継ぐ場合はチェックを入れてください。

⑧ 共有フォルダ名

移行先で公開する共有名を入力する項目です。

⑨ [移行中に見つかった問題を無視する] チェックボックス

移行で問題が発生した際に、それらを見逃して強制的に処理を完了させる場合はチェックを入れてください。セキュリティ変換に失敗するデータだけを無視して移行することも可能です。

⑩ 移行エラー

移行処理で発生したエラーが表示されます。

アクセス不可

アクセスできないデータが存在した場合にカウントされます。

セキュリティ変換不可

移行先に同名のアカウントが存在しない等、セキュリティ情報を引き継げないデータが存在した場合にカウントされます。

その他

上記以外エラーが発生した場合にカウントされます。

⑪ エラーログ

移行処理で発生したエラーの詳細ログがダウンロードできます。

⑫ 移行結果

ファイル、フォルダ、サイズ毎の移行結果が表示されます。

総件数

移行元データの総件数がカウントされます。

移行対象件数

総件数からすでに移行先に存在（更新日時とサイズが同じ）するものを除いた件数がカウントされます。

移行完了件数

移行完了した件数がカウントされます。

⑬ [移行開始/中止] ボタン

データ移行処理を開始/中止します。

⑭ [適用] ボタン

入力されている設定値を保存します。

⑮ [キャンセル] ボタン

ウィンドウを閉じます。

実行スケジュール設定ウィンドウ

名称と役割

① 実行スケジュール

Vマイグレーションの実行スケジュールを指定する項目です。指定した時間帯のみVマイグレーションを実行します。

② [設定] ボタン

実行スケジュール設定（曜日毎）ウィンドウを開きます。

③ [決定] ボタン

入力されている設定値を保存します。

④ [キャンセル] ボタン

ウィンドウを閉じます。

実行スケジュール設定（曜日毎）ウィンドウ

名称と役割

① [実行] チェックボックス

実行する場合はチェックを入れてください。

② 実行時間帯

実行時間を指定する項目です。

③ [決定] ボタン

入力されている設定値を保存します。

④ [キャンセル] ボタン

ウィンドウを閉じます。

※実行する時間帯は一日につき2パターンまで設定が可能です。

3-3

Vマイグレーションの手順

■ 関連ガイド

シナリオベースの操作ガイドをご用意しております。より具体的な環境を例にした解説をご希望の場合はこちらをご参照ください。

「導入ステップガイド Vマイグレーション編【ver. 7】」

http://vvault.jp/support/pdf/vvault_guide_vmig_v7.pdf

 **ご注意**

Vマイグレーションのジョブを追加する方法には、Vマイグレーションツールを使用して自動で追加する方法と、手動で追加する方法の2種類があります。手動で追加したサーバージョブに後からアカウント情報や共有設定情報の移行ジョブを追加することはできませんので、それらの情報も移行する必要がある場合は必ずVマイグレーションツールを使用する方法でジョブを追加してください。

Vマイグレーションツールを使用したジョブ追加手順

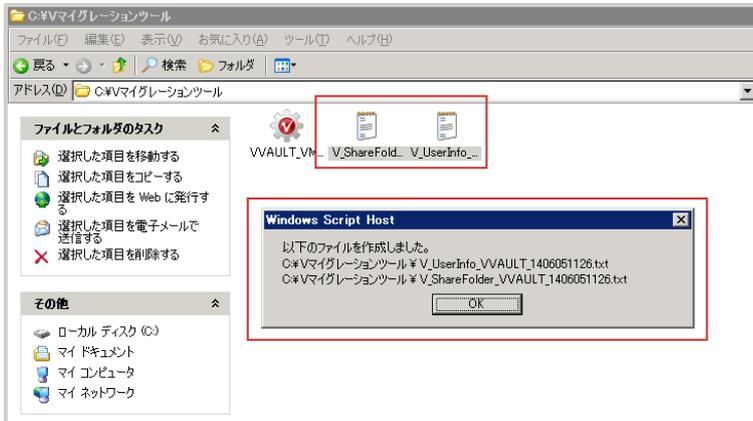
移行元サーバーのアカウント情報および共有フォルダの設定情報までを含めて移行する場合はこちらの方法で行ってください。

① 移行元サーバーにログインし、管理者ユーザーでVマイグレーションツールを実行します。

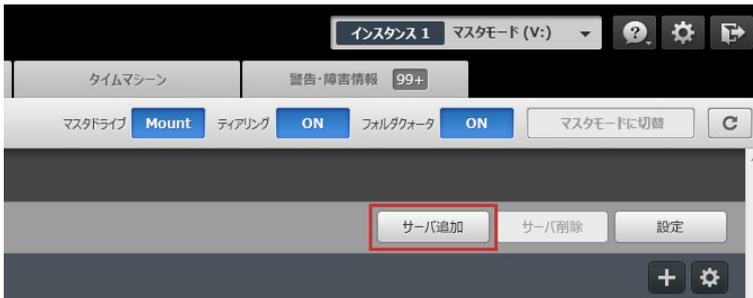


V マイグレーションツールを使用したジョブ追加手順

② 出力された [アカウント情報ファイル] [共有設定情報ファイル] を取得します。



③ 移行先の管理コンソールにログインし、ツールバーに配置されている [V マイグレーション サーバー追加] ボタンをクリックします。



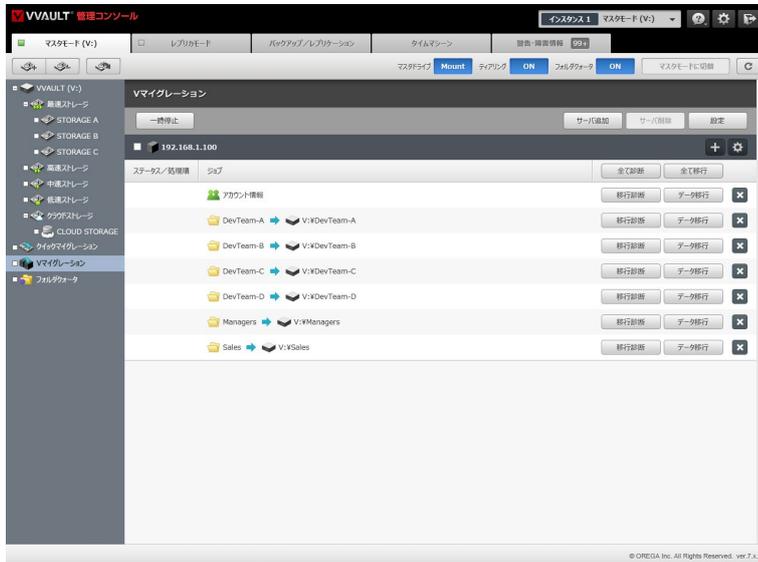
④ ②で生成した環境情報ファイルを、[アカウント情報ファイル] [共有設定情報ファイル] のそれぞれの欄に指定してください。



Vマイグレーションツールを使用したジョブ追加手順



⑤ [ジョブ一覧] にジョブが登録されていることを確認します。



ワンポイント

ジョブ追加後、移行元サーバーにユーザーが追加されたり、共有フォルダーの設定が変更された場合は、再度Vマイグレーションツールを実行して出力したファイルをサーバー編集画面よりアップロードすることにより、新しいジョブの追加や、設定値の更新が行えます。

※但し、前回登録された情報を削除することには対応しておりません。

手動でのジョブ追加手順

移行元サーバーのデータのみを移行する場合はこちらの方法で行ってください。

- ① 移行先の管理コンソールにログインし、ツールバーに配置されている[Vマイグレーション サーバー追加] ボタンをクリックします。



- ② 「3-2 各部の名称と役割 (P.19)」の[Vマイグレーション サーバー追加画面] を参考に必要な情報を入力し、決定ボタンをクリックします。

 A screenshot of the 'サーバー追加' (Add Server) dialog box. The title is 'サーバー追加' and the subtitle is '移行元サーバーの情報を入力し、決定ボタンをクリックしてください。'. There are two dropdown menus for '移行元サーバ*' with 'アカウント情報ファイル' and '共有設定情報ファイル' selected, each with a '参照...' button. Below that is a text input field for 'サーバー名 (またはIPアドレス)' which is highlighted with a red box. There are checkboxes for '接続にユーザ名とパスワードを使用する', 'ユーザ名' (with a placeholder 'PC名 (またはドメイン名) ¥ユーザ名'), and 'パスワード' (with a '表示' checkbox). At the bottom, there are radio buttons for '移行速度' (標準, 中速, 高速, 最高速) and two buttons: '決定' (highlighted with a red box) and 'キャンセル'.

ワンポイント

アカウント情報ファイル、共有設定情報ファイルは未入力とします。

- ③ ジョブ一覧よりツールバーに配置されている[Vマイグレーション ジョブ追加] ボタンをクリックします。



手動でのジョブ追加手順

- ④ 「3-2 各部の名称と役割 (P.19)」の[Vマイグレーション ジョブ追加ウィンドウ]を参考に必要な情報を入力し、決定ボタンをクリックします。

ジョブ追加

移行する共有フォルダと移行先を指定し、決定ボタンをクリックしてください。

移行元共有フォルダ* : ¥¥192.138.1.100¥ DevTeam-B

移行先フォルダ : V:¥ DevTeam-B

移行オプション : 共有設定を引き継ぐ 共有フォルダ名:

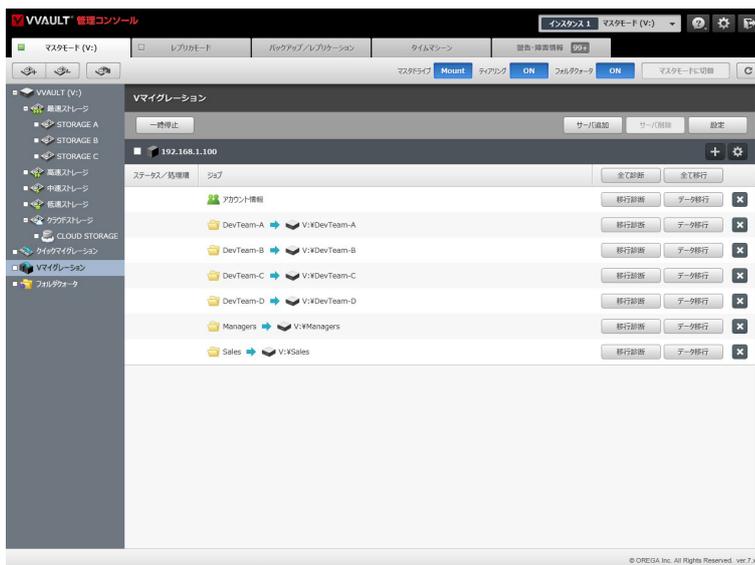
エラーを無視して処理を続行する

移行開始 診断開始 決定 キャンセル

ワンポイント

手動で追加したジョブは共有設定情報を引き継ぐことができません。

- ⑤ [ジョブ一覧]にジョブが登録されていることを確認します。



ワンポイント

手動で追加したジョブは共有設定情報を引き継ぐことができません。

- ⑥ 他に追加するジョブがある場合は③～⑤を繰り返します。

移行診断の手順

① ジョブ一覧画面より任意のジョブの[移行診断] ボタンをクリックします。



② [診断開始] ボタンをクリックします。



ワンポイント

データの移行診断では、推定移行所用時間の計測のため、一時的にVドライブ上の使用量が増えることがあります。

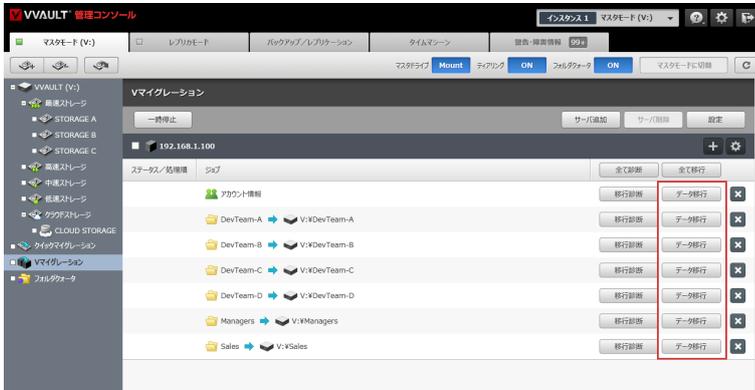
③ 移行診断のサブウィンドウに診断結果が表示されますので、エラーが無いことを確認します。



④ 他に診断するジョブがある場合は①～③を繰り返します。

データ移行の手順

① [ジョブ一覧画面] より任意のジョブの [データ移行] ボタンをクリックします。



② 「3-2 各部の名称と役割 (P.19)」の[Vマイグレーション データ移行画面] を参考に必要な情報を確認または入力し、[移行開始] ボタンをクリックします。



③ データ移行のサブウィンドウに移行結果が表示されますので、エラーが無いことを確認します。



④ 他に移行するジョブがある場合は①～③を繰り返します。

4 VVAULTへの移行シナリオ

Data Migration Manual for VVAULT 9.5

4-1 共有フォルダーの移行	40
4-2 共有ドライブの移行	50

4-1

共有フォルダーの移行

■ 構成について

下図のように、既に共有フォルダーとして運用しているデータを、本製品のマスタドライブへ移行する手順について説明します。尚、この手順は既存ドライブ内の共有フォルダーを移行する場合を想定しています。既存の共有ドライブ全体を移行する場合は、「4-2 共有ドライブの移行 (P.50)」をご覧ください。

既存データ取り込み時のライブマイグレーション



共有フォルダーの移行手順

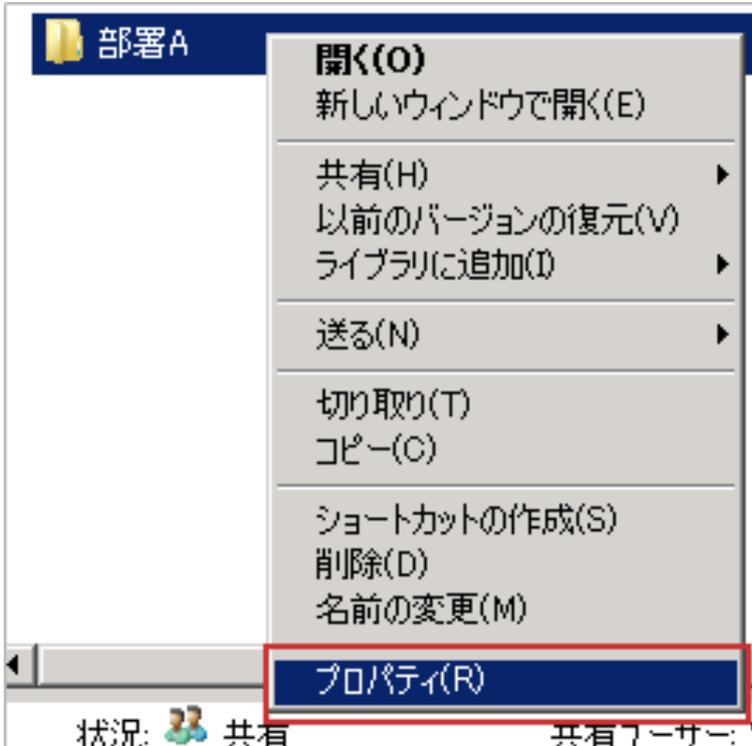
[共有の解除 \(P.41\)](#)

[マスタドライブへの取り込み \(P.44\)](#)

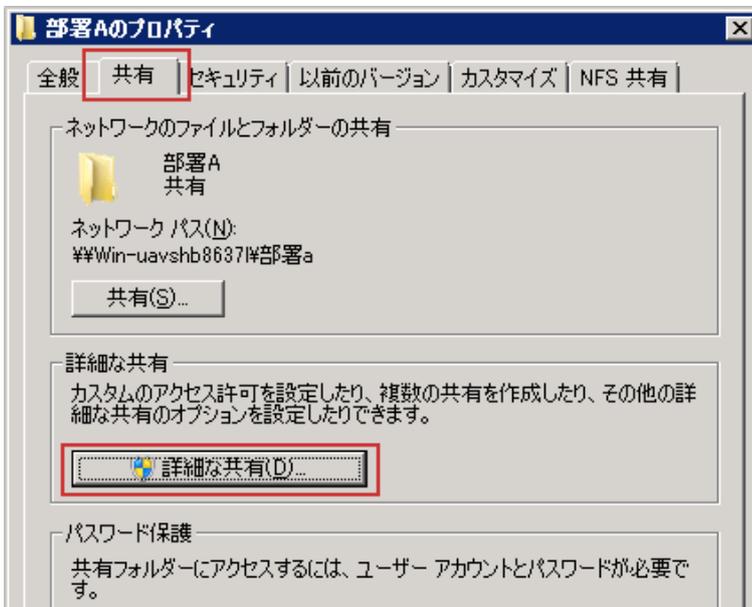
[対象フォルダーの共有 \(P.46\)](#)

共有の解除

① 移行元のフォルダーを右クリックし、[プロパティ]を選択します。

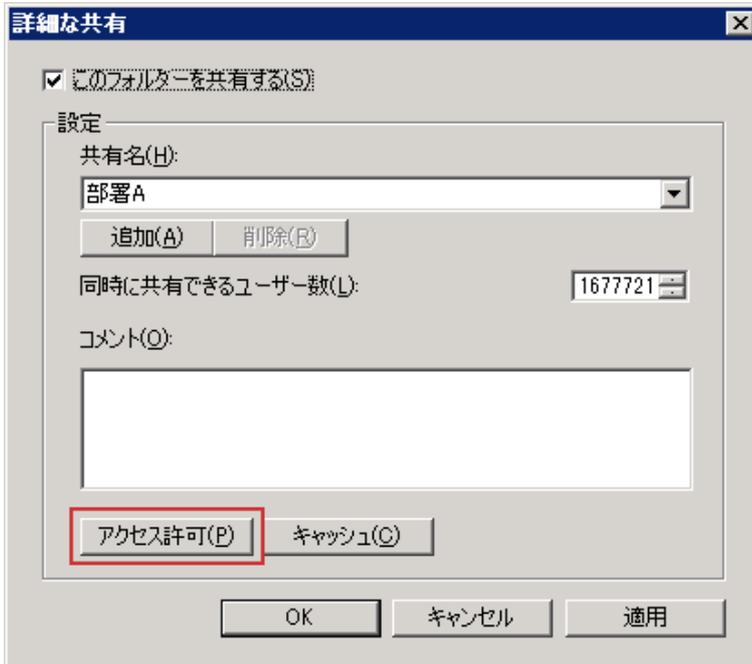


② [共有] タブを選択し、[詳細な共有] ボタンをクリックします。

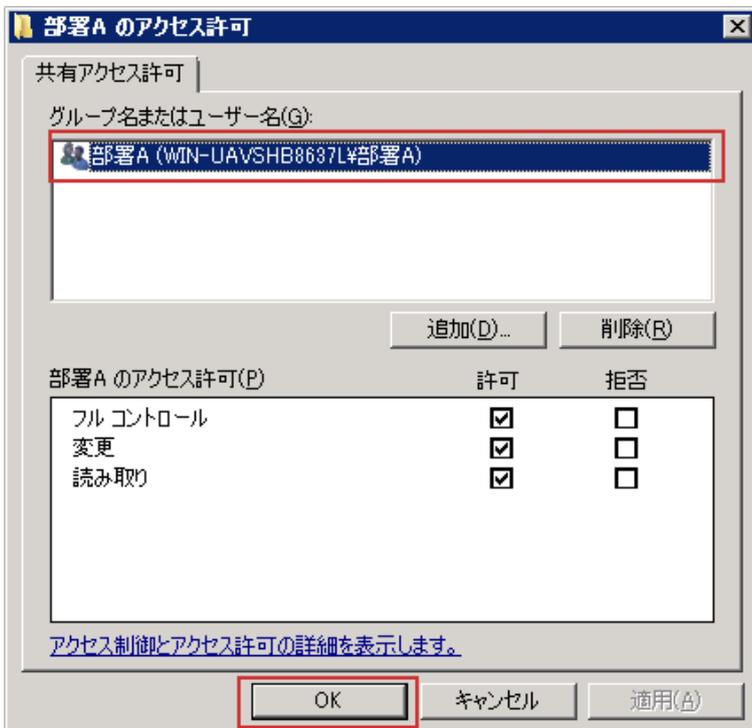


手順解説

③ [アクセス許可] ボタンをクリックします。



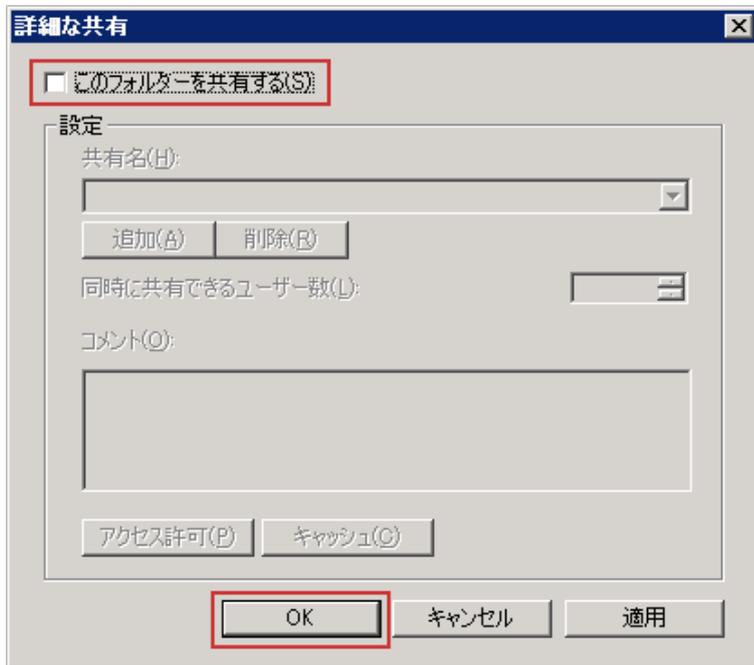
④ 共有の再設定に備え、共有アクセス許可されている全てのグループ、ユーザー、及びアクセス許可情報を記録し、[OK] ボタンをクリックします。



共有の解除



- ⑤ [このフォルダーを共有する] のチェックを外し、[OK] ボタンをクリックします。



🔍 共有されているフォルダーの確認方法

共有フォルダーが実際のフォルダーに設定されているかを確認するには、[コントロールパネル]の[管理コンソール]から[共有と記憶域の管理]をクリックします。表示された画面の[共有]タブに、現在設定されている[共有名]、及びその[ローカルのパス]情報が表示されます。

マスタドライブへの取り込み

- ① 本製品の管理コンソールにて、[マスタモード] タブを選択した状態で、[ストレージ追加] ボタンをクリックします。



- ② [ストレージ追加] ウィンドウにて、ストレージ階層、ストレージ名、管理対象パス（今回の例では”C:¥部署A” となります）を入力し、[決定] ボタンをクリックします。



ワンポイント

[ストレージ階層] と [ストレージ名] は任意のもので問題ありません。尚、管理対象パス階層下にアプリケーションやシステムフォルダーが存在しないことを確認してください。存在する場合、アプリケーションやシステムが動作しなくなる場合がありますのでご注意ください。

- ③ ②で登録した構成ストレージの設定画面へ移動し、[取り込む] ボタンをクリックします。



マスタドライブへの取り込み



④ 移行元フォルダーの取り込み処理が実行されます。



⑤ 取り込み処理の完了後、必要に応じて [取り外す] ボタンをクリックします。



🔍 複数の共有フォルダーを取り込むには

複数の共有フォルダーのデータを取り込むには、上記の手順を繰り返してください。尚、本製品の基本ライセンス[VVAULT Basic]では、登録可能な構成ストレージは2台 / 2TBまでに制限されています。それ以上の共有フォルダーを同時に取り込む必要がある場合は、有償ライセンスをお買い求めください。また、複数の共有フォルダーを内包する上位フォルダーが存在する場合は、そのフォルダーを管理対象パスに指定することで複数の共有フォルダーを同時に取り込むことも可能ですが、管理対象パス以下にアプリケーションや、システムフォルダーが含まれないようにする必要がありますのでご注意ください。

対象フォルダーの共有

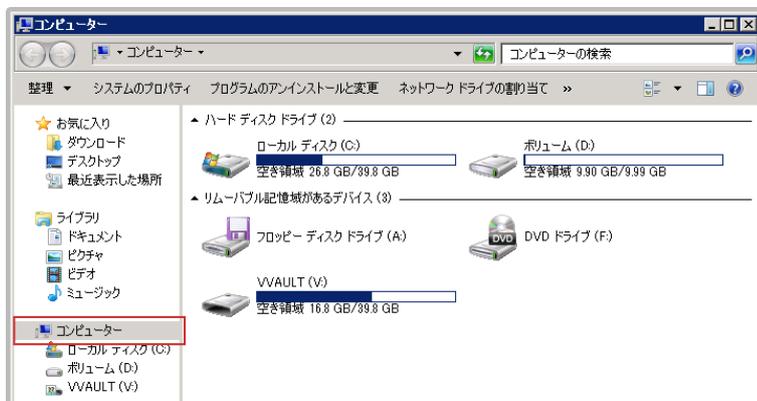
① マスタドライブをマウントします。



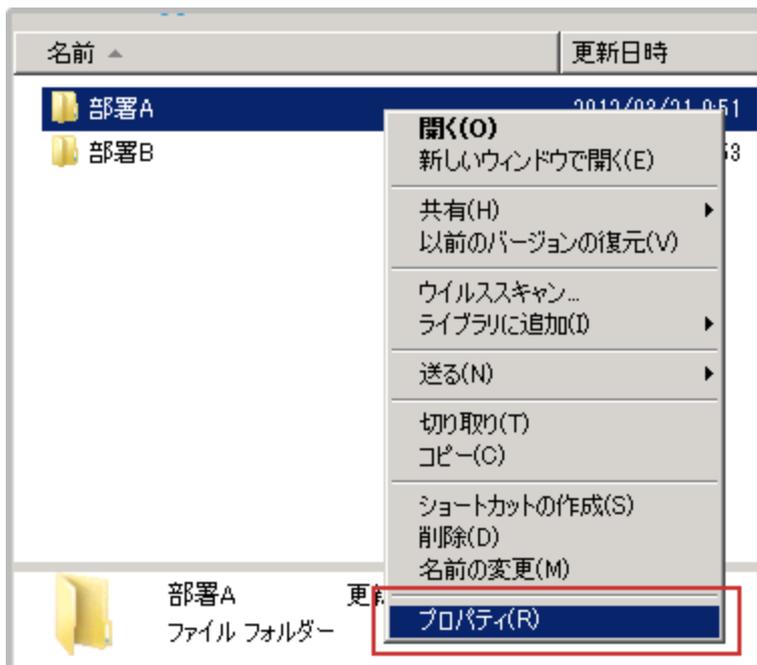
ワンポイント

マスタドライブをマウントする際、確認ダイアログが表示されます。問題がない場合は [OK] ボタンをクリックしてください。

② 手順①でマウントしたドライブへ移動します。



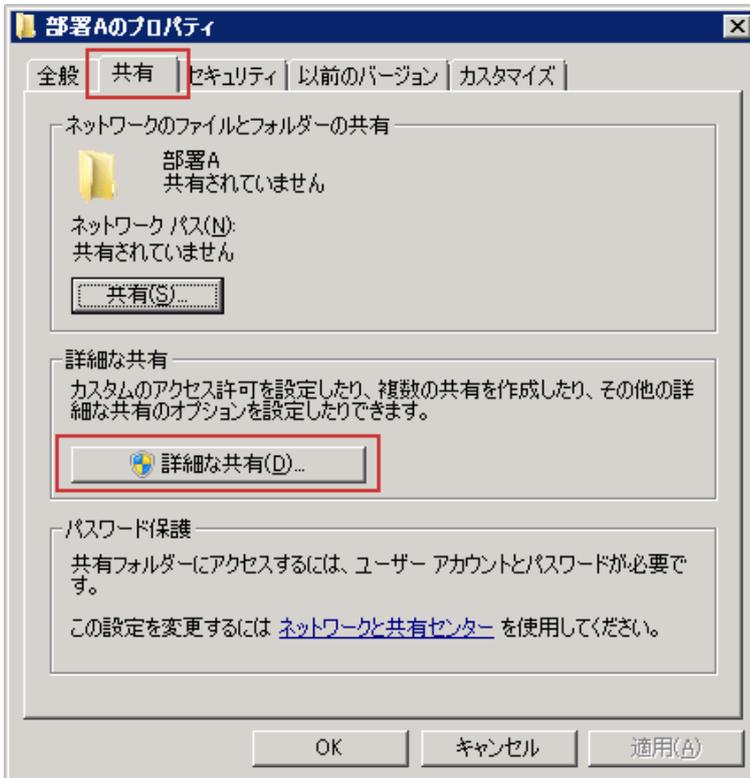
③ マスタドライブ上の対象フォルダーを右クリックし、プロパティを選択します。



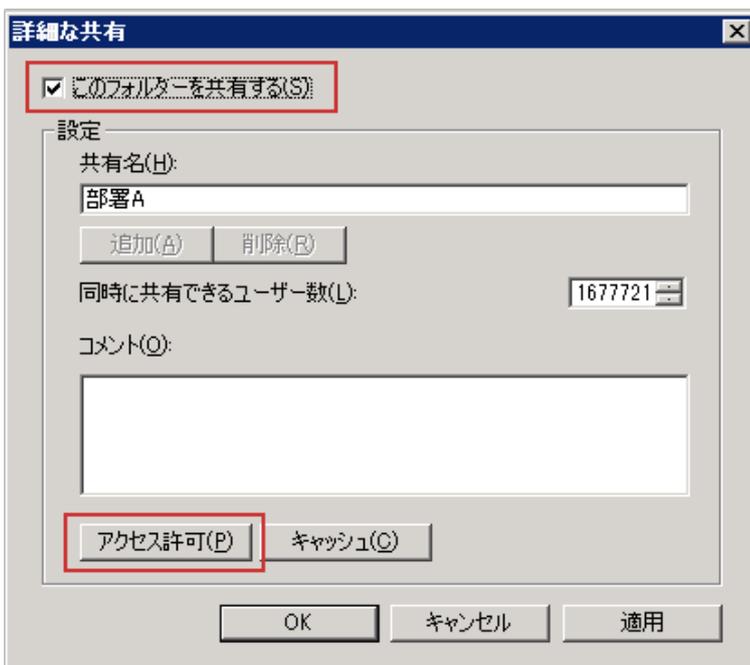
対象フォルダーの共有



- ④ [共有] タブへ移動し、[詳細な共有] ボタンをクリックします。

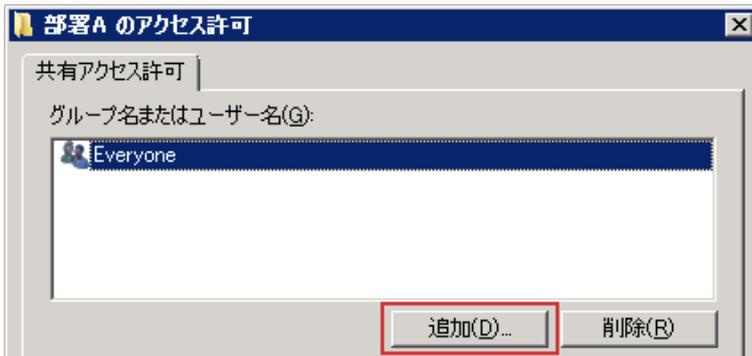


- ⑤ [このフォルダーを共有する] にチェックを入れ、[アクセス許可] ボタンをクリックします。

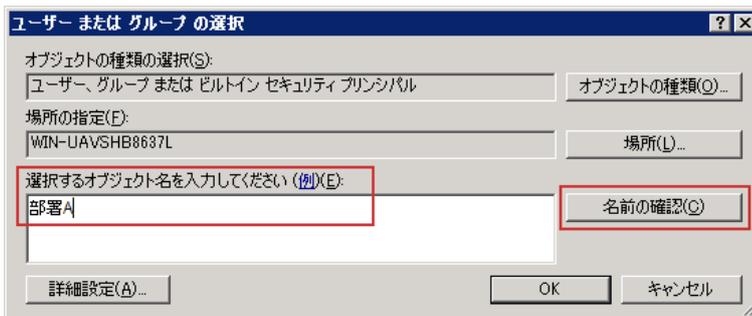


対象フォルダーの共有

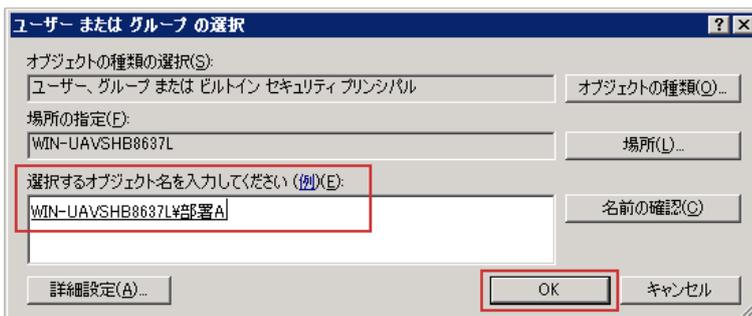
⑥ [追加] ボタンをクリックします。



⑦ オブジェクト名の入力欄に「共有の解除 (P.41)」の④で記録したグループ、又はユーザー名を入力し、[名前の確認] ボタンをクリックします。

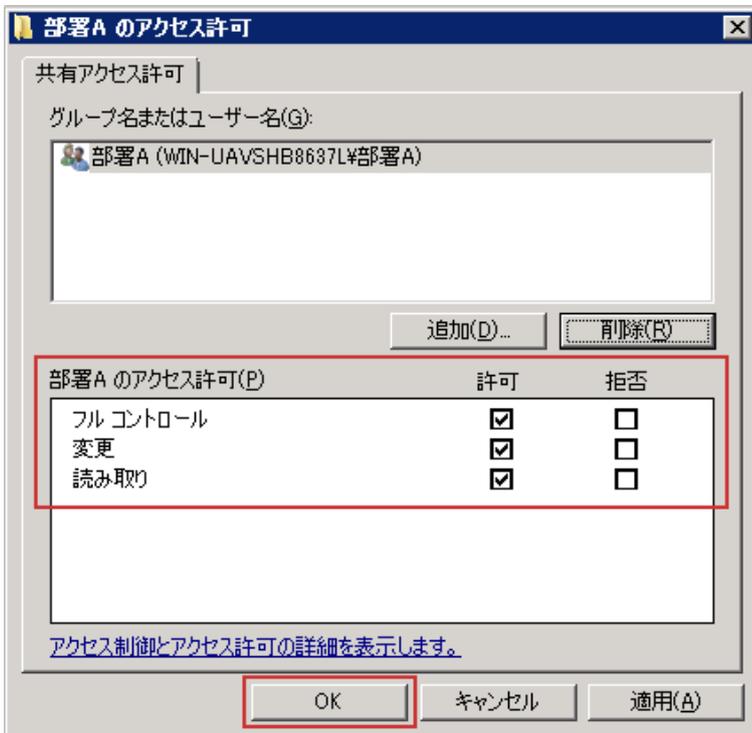


⑧ オブジェクトが正しく検索されたら [OK] ボタンをクリックします。



対象フォルダーの共有

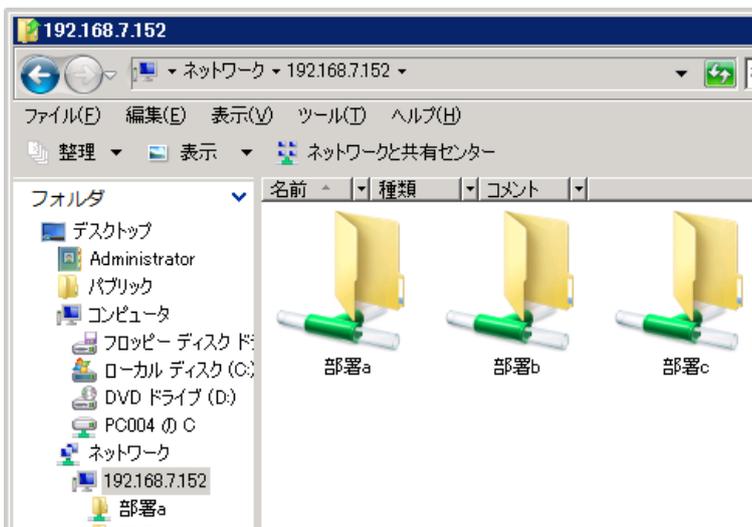
⑨ 追加されたオブジェクトに対し、「共有の解除 (P.41)」の④で記録したアクセス許可の状態を設定し、[OK] ボタンをクリックします。



⚠️ ご注意

共有するフォルダーに SYSTEM 権限が付与されていない場合、共有経由のアクセスでエラーが発生します。

⑩ クライアントとして使用するコンピューターのエクスプローラーから、移行前と同様にアクセスできることを確認します。



4-2

共有ドライブの移行

■構成について

下図のように、既に運用されている共有ドライブを、本製品のマスタドライブへ移行する手順について説明します。尚、この手順は既存の共有ドライブ内のデータを移行する場合を想定しています。既存の共有フォルダーを移行する場合は、「[4-1 共有フォルダーの移行 \(P.40\)](#)」をご覧ください。

既存ドライブ内データ取り込み時のライブマイグレーション



共有ドライブの移行手順

[共有の解除\(P.51\)](#)

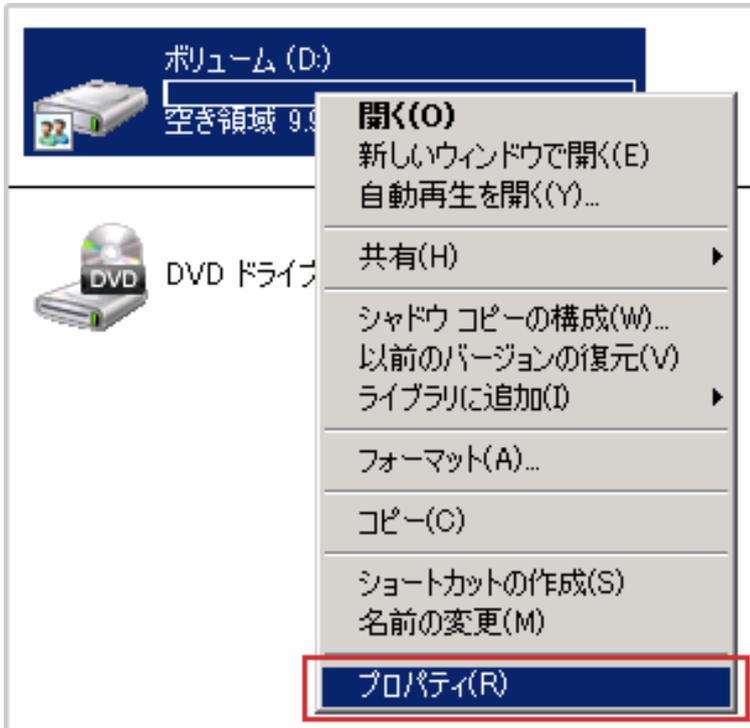
[アクセス権の設定\(P.54\)](#)

[マスタドライブへの取り込み\(P.57\)](#)

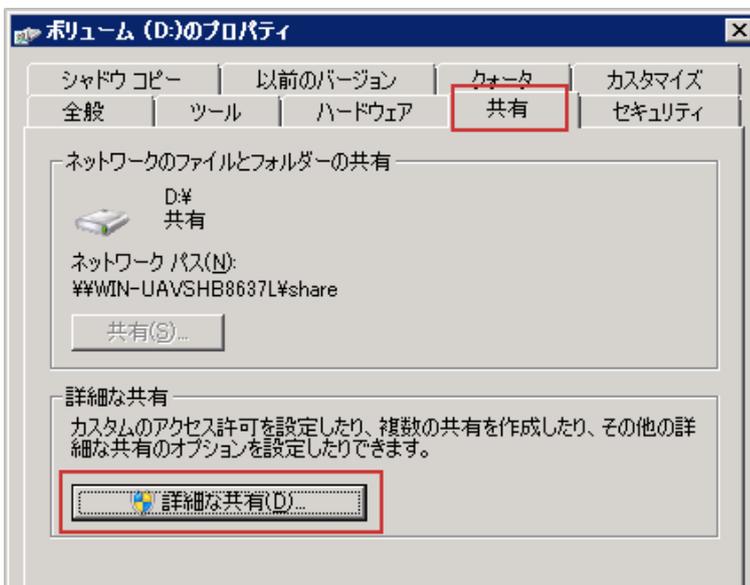
[対象フォルダーの共有\(P.59\)](#)

共有の解除

① 移行元のドライブを右クリックし、[プロパティ] を選択します。

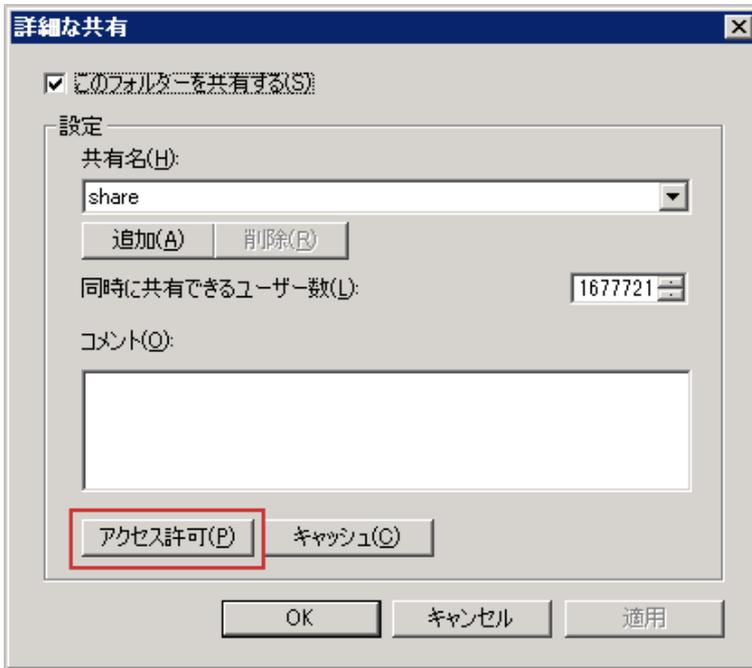


② [共有] タブを選択し、[詳細な共有] ボタンをクリックします。

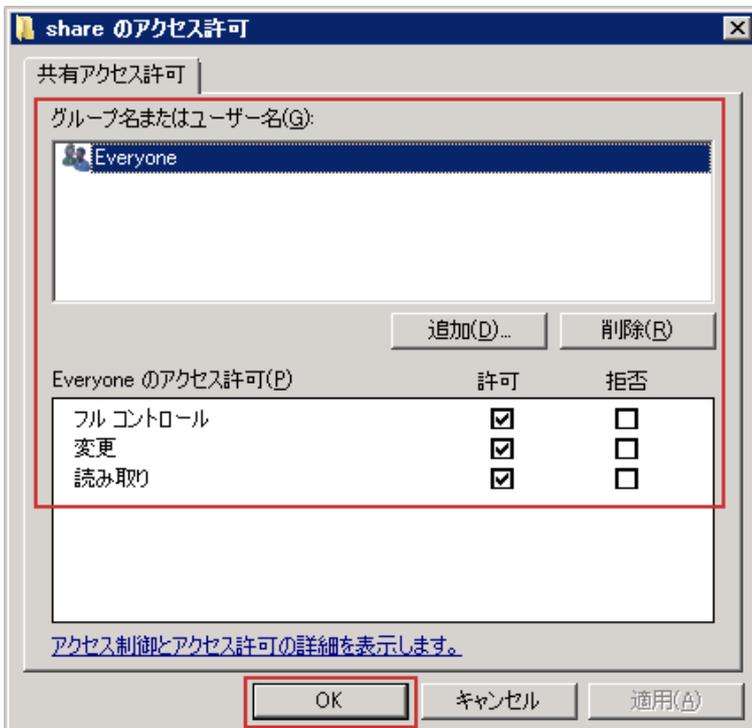


共有の解除

③ [アクセス許可] ボタンをクリックします。



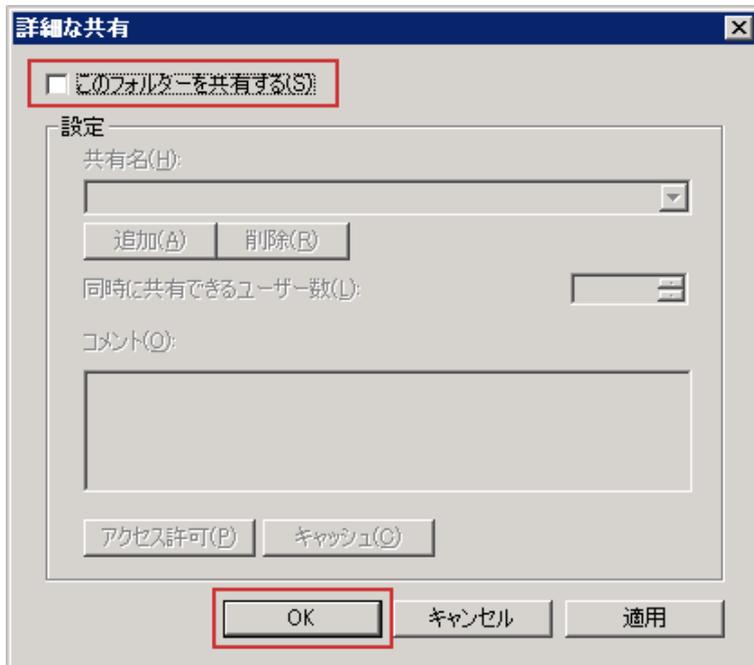
④ 共有の再設定に備え、共有アクセス許可されている全てのグループ、ユーザー、及びアクセス許可情報を記録し、[OK] ボタンをクリックします。



共有の解除



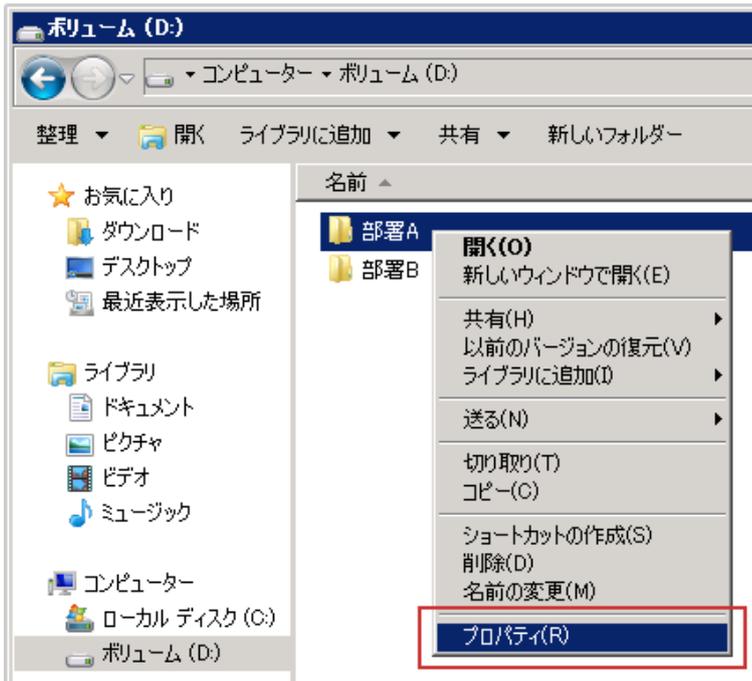
- ⑤ [このフォルダーを共有する] のチェックを外し、[OK] ボタンをクリックします。



マスタドライブにデータを取り込むには、移行元のフォルダーやファイルに SYSTEM アカウントのフルコントロール権限が付与されている必要があります。権限をカスタマイズして運用している場合は、以下の手順で権限を追加してください。

アクセス権の設定

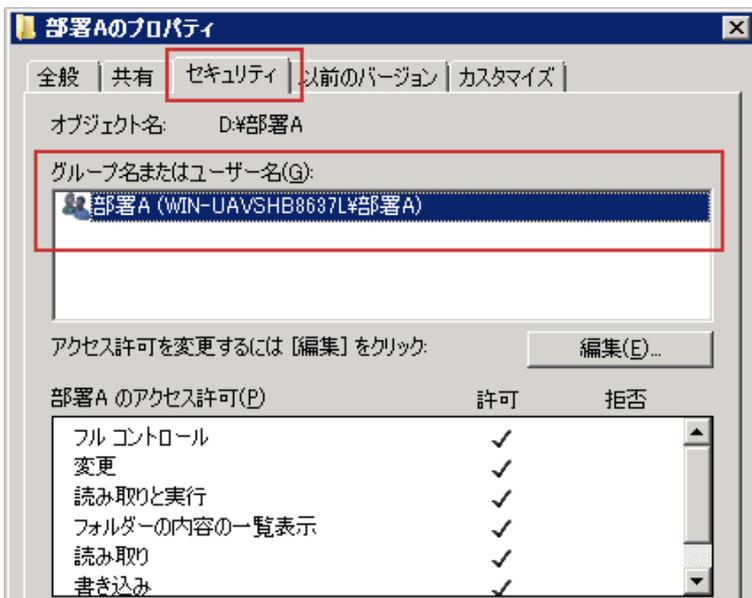
- ① 移行元のフォルダーを右クリックし、プロパティを選択します。



ワンポイント

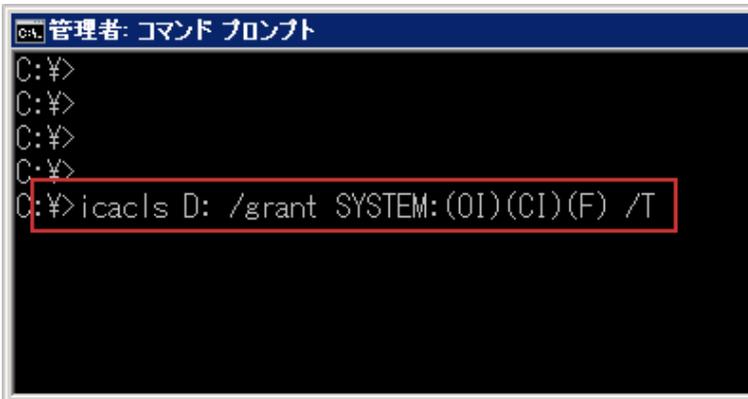
左図の場合、SYSTEM アカウントへのアクセス許可が無い場合、取り込み処理でエラーとなります。

- ② [セキュリティ] タブに移動し、設定されている [グループ名またはユーザー名] を確認します。



アクセス権の設定

- ③ 取り込み対象のフォルダー以下のコンテンツ全てにフルコントロール権限を持つユーザーにて、コマンドプロンプトを開き、[icacls D: /grant SYSTEM:(OI)(CI)(F) /T]と入力し、実行します。

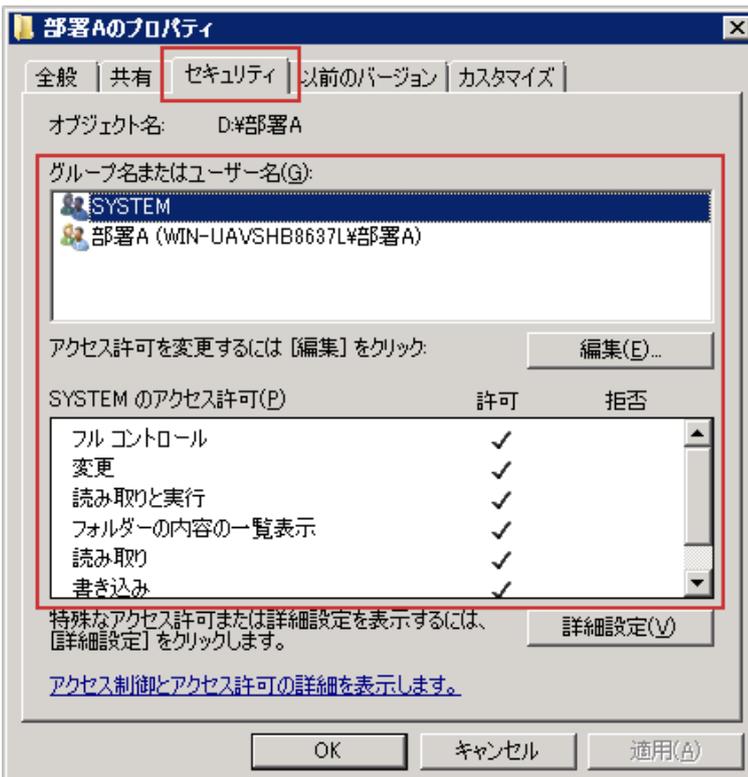


ワンポイント

このコマンドを実行することで、Dドライブの全てのフォルダー、およびファイルにSYSTEMアカウント権限が付与されます。尚、Windows XPの場合は"icacls.exe"コマンドがありませんので、下記のコマンドを実行してください。

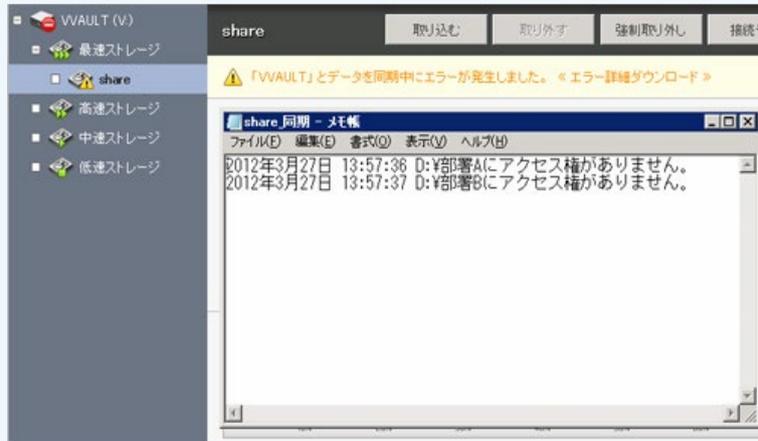
```
cacls D: /G SYSTEM:F /C /E /T
```

- ④ SYSTEMアカウントが追加され、フルコントロール権限が割り当てられていることを確認します。



🔍 取り込み時のエラーについて

SYSTEM アカウント権限が付与されていない状態で取り込みを実行した場合、以下の画像のようにエラーが発生します。また、属性が「読み取り専用」となっている場合にも同様のエラーが発生します。この場合は、取り込みに失敗したファイルをエクスプローラーから直接仮想ドライブに移動することでご対応ください。



マスタドライブへの取り込み

① 本製品の管理コンソールにて、[マスタモード] タブを選択した状態で、[ストレージ追加] ボタンをクリックします。



② [ストレージ追加] ウィンドウにて、ストレージ階層、ストレージ名、管理対象パス（今回の例では”D:” となります）を入力し、[決定] ボタンをクリックします。

ストレージ追加
追加するストレージの情報を入力して決定ボタンをクリックしてください。

ストレージ階層 : 最速ストレージ

ストレージ名* : Share

ストレージの種類 : ローカルストレージ

管理対象パス* : D:

容量制限 : 無効 有効 GB

コメント

決定 キャンセル

③ ②で追加した構成ストレージの設定画面へ移動し、[取り込む] ボタンをクリックします。



ワンポイント

[ストレージ階層]と [ストレージ名] は任意のもので問題ありません。尚、管理対象パス階層下にアプリケーションやシステムフォルダーが存在しないことを確認してください。存在する場合、アプリケーションやシステムが動作しなくなる場合がありますのでご注意ください。

マスタドライブへの取り込み

④ マスタドライブの取り込み処理が実行されます。



⑤ 取り込み処理の完了後、必要に応じて [取り外し] ボタンをクリックします。



🔍 複数の共有ドライブを取り込むには

複数の共有ドライブのデータを取り込むには、上記の手順を繰り返してください。尚、本製品の基本ライセンス[VVAULT Basic]では、登録可能な構成ストレージは2台 / 2TBまでに制限されています。それ以上の共有フォルダーを同時に取り込む必要がある場合は、有償ライセンスをお買い求めください。

対象フォルダーの共有

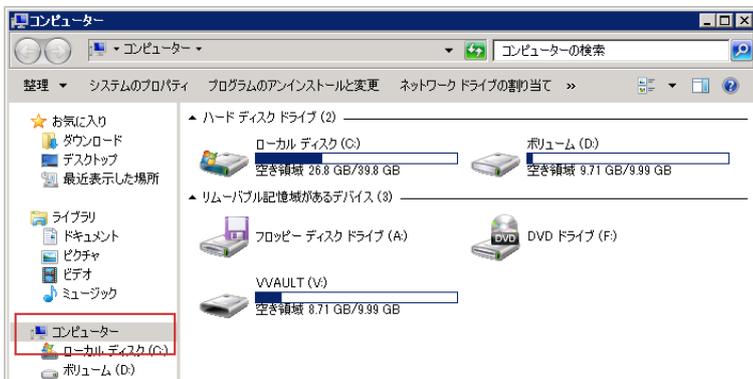
- ① マスタドライブをマウントします。



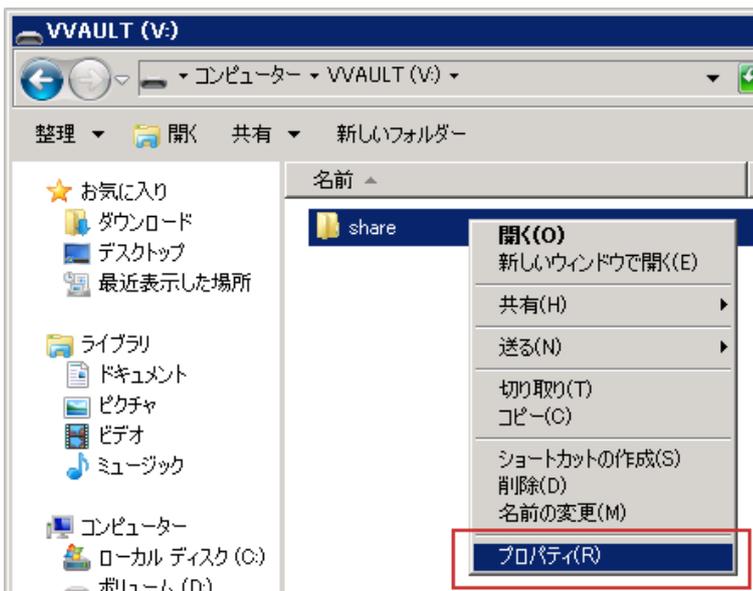
ワンポイント

マスタドライブをマウントする際、確認ダイアログが表示されます。問題がない場合は [OK] ボタンをクリックしてください。

- ② エクスプローラーから [コンピューター] を開き、マスタドライブへ移動します。

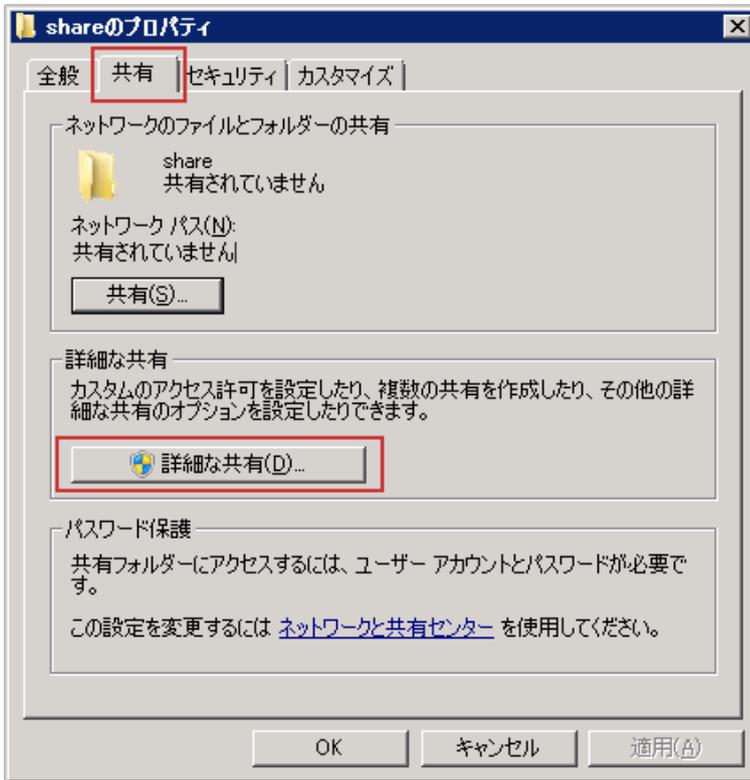


- ③ マスタドライブ上の対象フォルダーを右クリックし、プロパティを選択します。

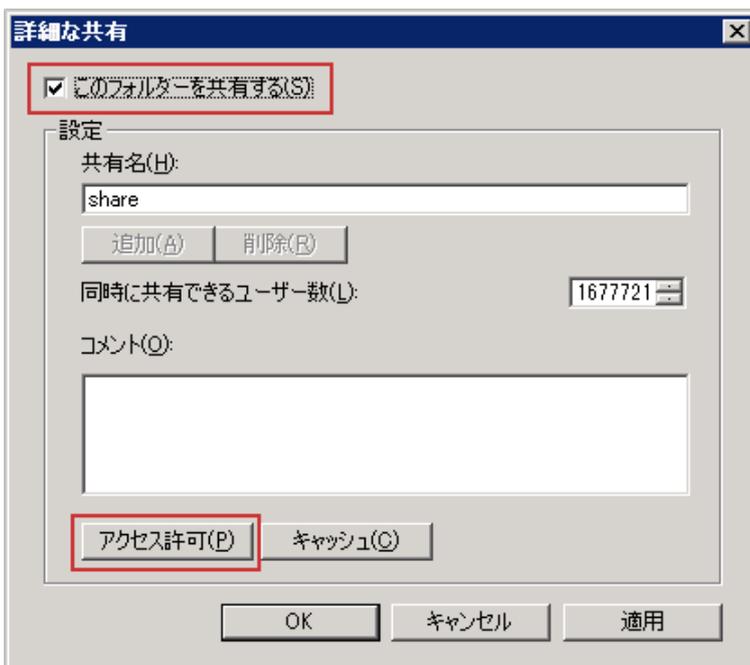


対象フォルダーの共有

④ [共有] タブへ移動し、[詳細な共有] ボタンをクリックします。



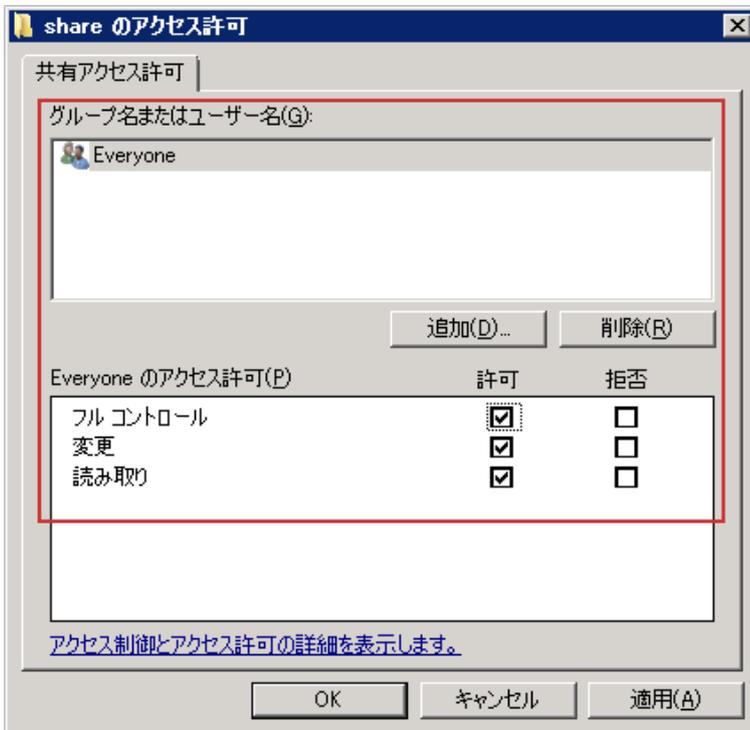
⑤ [このフォルダーを共有する] にチェックを入れ、[アクセス許可] ボタンをクリックします。



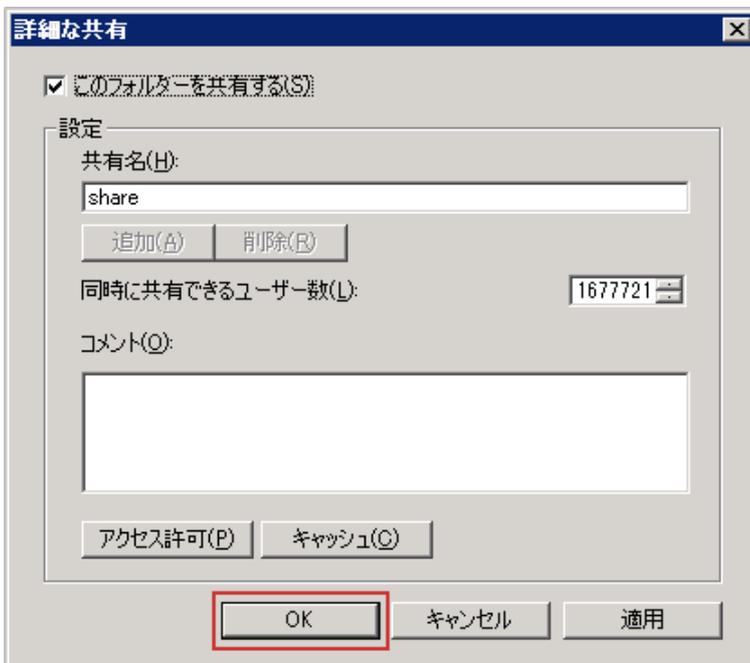
対象フォルダーの共有



- ⑥ 「共有の解除 (P.51)」の④で記録した情報から、共有の設定状態を復元し、[OK] ボタンをクリックします。

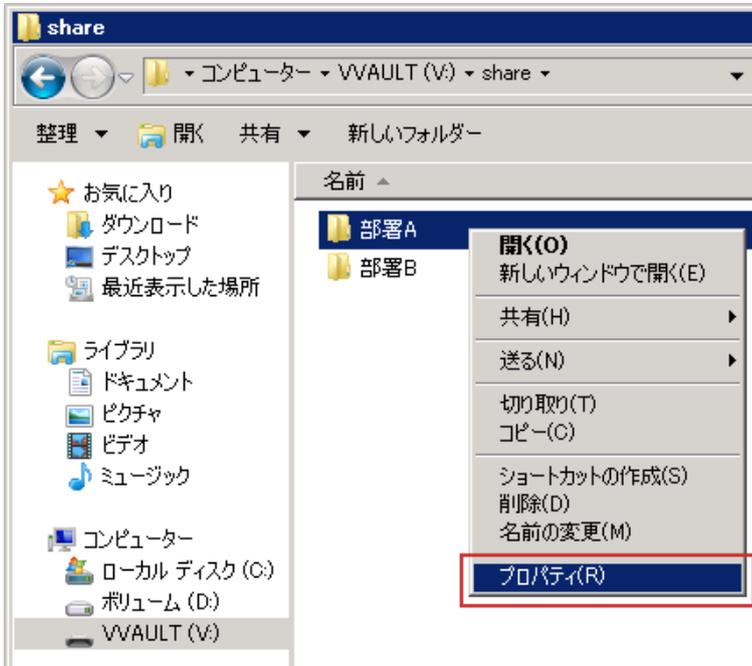


- ⑦ [詳細な共有] ウィンドウの [OK] ボタンをクリックします。



対象フォルダーの共有

- ⑧ エクスプローラーより対象フォルダーを右クリックし、プロパティを選択します。



- ⑨ [セキュリティ] タブへ移動し、マスタドライブに取り込まれたデータのセキュリティ情報が、移行元の情報を引き継いでいることを確認します。

